

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
1	亀岡地区中部	国道9号線関連について	国道9号矢田口交差点の歩道(拡幅)整備事業につきましては、学区変更に伴う児童数により設計内容が変わるため、調整に時間を要しておりましたが、想定される最大規模の児童数で歩道整備を実施いただくこととなりましたので、今年度から本格的に事業推進いただくこととなりました。国道9号矢田口交差点の今後につきましては、詳細設計に基づき用地測量を行い、用地協議を進めていくことになります。用地交渉については、今年度から本市が事務委託を受けることとしていることから、早期の工事着手に向け、国と本市との協力体制により、事業に取組んでまいりたいと考えております。平成30年度に事業化された国道9号下矢田交差点改良事業につきましては、府道枚方亀岡線との交差点形状について関係機関協議を重ねていただいているところです。国道9号下矢田交差点につきましては、今年度は公安協議及び設計業務を行っていただく予定と聞いております。完成予定年度につきましては、示されておりませんが、用地補償件数が多いことから時間を要することが予想されます。亀岡市も用地事務の事務委託を担当しますことから、国土交通省と連携をはかるなかで、早期工事着手ができる環境整備に向け、積極的に用地確保に取り組んでまいりたいと考えております。	まちづくり推進部 事業担当部長	②実施予定	こん談会での回答のとおりです。
2	亀岡地区中部	鉾町道路の補修整備計画について	旧町については約20年前に歴史街道整備がなされ、景観と合わせたカラー舗装、石畳の設置などが行われましたが、ご指摘のとおり経年劣化に伴い、修繕が必要な状況となってきました。舗装修繕については、多額の予算が必要であることから、国の補助金を活用しながら実施しており、今年度、主要路線について、舗装修繕計画の策定を予定しており、業務委託の発注準備を行っております。来年度以降は、計画策定にかかる成果に沿って、計画樹立をし、順次舗装改良工事を実施していく計画をしています。尚、定期的なパトロールを行い、通行などに支障がある場合は、適宜応急的な対応を実施していきたいと考えています。また、ガタつきや陥没等見受けられましたら、土木管理課までご連絡いただきますよう、よろしくお願いいたします。	まちづくり推進部 事業担当部長	③検討	今年度、舗装修繕計画策定業務を発注し、路面等の調査を実施しております。今後、調査結果に基づき修繕計画の策定を行なって参ります。
3	亀岡地区中部	雑水川関連について(南郷池～緑橋付近まで)	現在、京都府におきまして、緑橋上流区間と春日橋の架け替えを事業推進いただいております。緑橋から南郷池の間は、楽々荘横落差工部から櫻橋の間が改修済みですが、それ以外の区間については、まだ未改修の状況であります。改修にあたっては、下流の断面確保が必要であることから、事業中である春日橋の架け替え事業や、次に控える春日小橋の架け替えが完成しないと当該区間である緑橋から南郷池間の事業着手が図れないことから、本市としましては今進められていまず、下流区間の事業推進について、引き続き京都府に要望してまいりたいと考えております。	まちづくり推進部長	④要望	こん談会での回答のとおりです。
4	亀岡地区中部	雑水川関連について(南郷池の浚渫工事について)	南郷池の堆積土砂につきましては、平成26年度、平成28年度、平成29年度にそれぞれ浚渫いただいております。京都府からも、今年度において南郷池の堆積土砂撤去を予定していると聞いております。堆積土砂搬出ルートなどに懸念があることから、本市としましても円滑に撤去工事が進みますように取り組んで参りたいというふうに思っておりますので、工事の際には、よろしくお願いいたします。今後におきましても、河川としての疎通能力の維持、また、市民の憩いの場でもある南郷池の景観維持の観点からも、継続的な土砂浚渫が必要であると考えますので、市としましても、引き続き京都府の方に適正な管理について要望してまいりたいと思っております。	まちづくり推進部長	①実施	現在、南郷池の浚渫工事を実施いただいております。年度内完了予定と聞いています。

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
5	亀岡地区中部	雑水川関連について(南郷池春日橋付替工事予定の現状)	市道クニッテルフェルド通に架かる春日橋架替えにつきましては、上下水道や電力通信など、占用物件が多く埋設されていることもあり、移転に伴う協議を継続して進めていただいています。 今年度につきましては、引き続き各占用者との協議を進められると聞いているところで、現段階では工事着手時期は明確になっておりませんが、早期着手に向け、本市としても京都府へ引き続き強く要望してまいります。	まちづくり推進部長	④要望	今年度占用物件移転に伴う工法検討の委託発注済であり、その工法を踏まえて、来年度早々に占用者と協議をしたいと考えています。その他、こん談会での回答のとおりです。
6	亀岡地区中部	雑水川関連について(北町と亀小からの水路のバックウォーター対策について)	緑橋より上流におきましては、雑水川に流入する水路や亀小からの水路がバックウォーターにより周辺の民家に浸水被害ということが最近続いているところと聞かれています。昨年の7月も西町や安町で床下浸水の被害があったところと聞かれています。特に平成24年の7月には大きな被害がございまして、西町、北町、安町等で50戸以上の浸水被害がありました。これにつきましても、雑水川の河川整備は進められており、川幅も一定緑橋の上流部分では広げられておりますが、がんこ楽々荘横の落差工の高さが決められており、それ以上河床をさげられないということがございまして、川幅は広がっておりますが、その効果がでないという状況がございまして、そういったことがございまして、引き続き今年も上流部の改修に向けた関係機関協議を進めると聞いておりますし、河床がさがらないと根本的な解決には至らないかと思いますが、将来的な根本的な解決に向けて、護岸整備等を進めていただきますように、京都府に協議してまいりたいと思っております。	まちづくり推進部長	④要望	こん談会での回答のとおりです。
7	亀岡地区中部	雑水川関連について(向島JR向こうの排水処理について)	古世町向島のJR北側排水路については、これまでは一定量の降雨があると、水路断面が小さかったため、すぐに溢れる状況でありましたが、亀岡駅北側の市街化に合わせて現状の土地利用に沿った水路の断面に大きく整備を済ませたところと聞かれています。雑水川に流れ込むところに、雑水川からの逆流防止ゲートがありまして、雑水川の水位が増えますと、ゲートが閉まって逆流をとめる状況になるということで、閉まった以後は、上流からの水が徐々に溜まっていくということでございまして、そのゲートがないと下流からの逆流でどんどん水位があがりますので、そのことは昔に比べて治水安全の向上にははかれているだろうと思いますが、ゲートが閉まった後、徐々に溜まっていくことの処理については、今年亀岡市内にある霞堤のうち、保津橋より下流の霞堤について、嵐山の改修が一定進んだ段階で嵩上げすることが発表されまして、逆流ゲートの閉まった後の水の処理について課題になっている箇所がいくつかあります。そういった箇所の状況を検証する中で、対策について府、市が協力して検討してまいりたいと考えています。	まちづくり推進部長	⑥その他	こん談会での回答のとおりです。

番号	自治会名	こん談事項	こん談会開催時の回答内容	回答者	取組状況	取り組み状況の説明事項
8	亀岡地区中部	亀岡駅南側市街地について	亀岡駅北地区における府立京都スタジアムを含む新たなまちづくりや、2020年には本市ゆかりの戦国武将・明智光秀公を主人公とする大河ドラマ『麒麟がくる』の放映が決定するなど、亀岡駅周辺一体のまちづくりに対する機運が高まっています。このような状況の中、今年度、城下町地区を含む亀岡駅南エリアのランドデザインとして「亀岡駅南周辺地区まちなみ・まちづくり構想」の策定を進めており、当該エリアの歴史的な資源などを積極的に活用していくとともに、地元で検討されているまちづくり構想などとも連携しながら、道路、広場、公園等の公共空間におけるデザイン等を含めた構想を策定していきたいと考えています。構想策定にあたりましては、地元住民の皆さんの意向も取り入れられるよう、ワークショップ等を開催するなど、地元の皆さんとともに構想を策定していきたいと考えています。構想も含みまして、一定構想に基づいて事業プランとしましては、令和元年度から令和5年度の5箇年を事業期間としまして、構想をたて事業実施してまいりたいと考えています。	まちづくり推進部長	①実施	現在、亀岡駅南周辺地区まちなみ・まちづくり構想の策定に向けまして、地元自治会や各種団体等で構成されるメンバーで意見交換会を開催しています。意見交換会の内容等を踏まえ、地元で検討されているまちづくり構想などとも連携しながら、道路、広場、公園等の公共空間におけるデザイン等を含めた構想を策定していきたいと考えています。
9	亀岡地区中部	各町の要望事項	平成4年度からルート検討を行いまして、平成13年度に地元関係者に計画ルート案を提示させていただいたところですが、具体的な動きはしておりません。以前提示した君塚団地の北側を迂回するルートとは別に君塚団地南側の既存市道を活用したルートも検討しているところです。当該路線については国道9号の渋滞緩和、国道9号以南の道路網形成に大きく寄与すると考え必要性は認識しておりますが、事業延長が2km以上に及び事業費も多額となり、現在市内一円で数多くの継続事業を実施しているのに加え、財源となる国からの交付金等も極めて限られていることから、他路線の事業進捗も視野に置きながら、事業再開の時期を検討していきたいと考えます。	まちづくり推進部 事業担当部長	②実施予定	令和2年度に概略調査設計業務の委託を行い、事業再開に向け必要なルート検討等を実施してまいりたいと考えており、必要な予算を3月議会に上程しております。